

## 平成二十三年第一回臨時会 提案理由説明書

ただ今上程されました諸議案について、説明申し上げます。

第六十一号議案 副知事の選任につきましては、小風茂氏を選任することについて、

第六十二号議案 監査委員の選任につきましては、県議会議員のうちから選任する監査委員に田中利明氏及び平岩純子氏を選任することについて、それぞれ議会の同意をお願いするものであります。

第六十三号議案 当せん金付証券の発売につきましては、口蹄疫により甚大な被害を受けた宮崎県を中心とした畜産業の復興経費の財源に充てるため、熊本県、宮崎県及び鹿児島県と共同して、宝くじを発売したいので議決をお願いするものであります。

次に、報告です。

第一号報告 平成二十二年度大分県一般会計補正予算についての専決報告であります。

補正額は、五億五千百十九万七千円の増額で、その内容は、退職手当の確定に伴う減額補正及び減債基金への積立てであります。これらに対する財源は、県税 九億円、地方譲与税 三億五千三百余万円及び地方交付税 一億八千二百余万円のそれぞれ増、県債 十億円の減、その他であります。

今回の補正では、県税収入等の増加があったことにより、臨時財政対策債を除く実質的な県債残高を減少させるために、退職手当債の発行を取りやめるとともに、今後の償還に備え、減債基金を積み増すなど財政の健全性確保に努めたところであります。

第二号報告 平成二十三年度大分県一般会計補正予算につきましては、東日本大震災による被災地、被災者を支援するための経費について、緊急に実施する必要がありましたので、専決処分を行ったものであります。

補正額は、二億三千五百万円の増額で、その財源は全額財政調整基金からの繰入金であります。

補正予算の内容は、まず、被災地への支援です。

被災地の要請に応じて、引き続き生活物資の支援を行うとともに、本格化する復旧・復興業務に従事する職員の派遣要請にも応えてまいります。

また、被災地から本県に避難される方々への支援にも力を入れます。避難生活の長期化が心配されることから、県営住宅等の無償提供に加え、県内の旅館、ホテルの協力を得て、被災者を迎える体制を整えるとともに、避難されてきた

方々に対する健康・生活相談等を充実するほか、生活再建を願う県民の気持ちを込めて見舞金を贈ります。

以上のような補正予算の内容に加え、被災企業を支援するためのワンストップ窓口を設置するなど、被災地の復旧・復興に向け、県として、できる限りの支援を行っています。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の影響は、県内経済にも広範に及んでいます。状況に応じた対策を的確に、きめ細かく講じていくことが重要です。加えて今大事なことは、日本全体が閉塞感に包まれる中で、本県をはじめとする九州、西日本が経済、産業面で活力を高め、力強い歩みを進めることでもあります。

翻って、東南海・南海地震等に備えなければならない本県としても、今回の大震災を機に、地域防災計画をしっかりと検証して、ハード・ソフト両面から防災対策全般を強化し、万全を期す必要があります。このため、先般、地域防災計画再検討委員会を立ち上げ、県、市町村が一体となって対策の検討をはじめたところであります。

これら喫緊の重要課題に対し、県庁一丸となって、施策の具体化を急ぐとともに、着実に実行してまいります。

以上をもちまして、提出しました諸議案の説明を終わります。

何とぞ、慎重御審議のうえ、御賛同いただきますようお願い申し上げます。